

川内村町分地区 景観ガイドライン

まち並み編

Townscape Design Guidelines

令和3年3月



はじめに

四方を山々に囲まれ、中心に木戸川が流れる町分地区では、この地の気候風土と調和した生活生業が連綿と営まれてきました。現在、町分地区に広がる水田や水路、まち並み等の景観は、そうした長年にわたる生活生業の結果として存在し、この地の気候風土に対応した「(暗黙の) 約束事」に則って、美しく形成されています。

これからもこの美しい景観を守り、その魅力に磨きをかけていくためには、今後この地で行われる建築行為や公共事業等において「約束事」が尊重され、周囲の景観と調和するよう配慮されることが必要です。しかし、現状では、町分地区には明示されたルールは存在せず、一貫した景観形成が行われる状況にありません。そのため、地区住民や域外の方、行政機関等が共有できる「景観ガイドライン」を策定し、町分地区における景観配慮事項を明示することとしました。

官民の一体的な景観形成を目指して、『町分地区景観ガイドライン』は、建築行為、開発行為等を対象とする【まち並み編】(本編)と、道路や公共サイン等を対象とする【公共施設編】(別冊)の2部構成としています。今後、町分地区において建築行為、開発行為、公共事業等を行う場合には、『町分地区景観ガイドライン』に従った配慮が必要となります。

【まち並み編】は、町分地区における景観形成の基本的な方針を示した「大切にしていきたい町分のまち並み」と、今後の建築行為、開発行為で守るべき基準を示した「町分の風景に調和した建物ガイド」によって構成され、地域のガイドラインとして運用されます。

なお、『町分地区景観ガイドライン』は、地区住民を対象としたアンケート結果を踏まえて、地区住民で構成された「町分地区景観形成委員会」で検討を行い、パブリックコメント等を経て、令和3年3月に策定しました。



A photograph of a residential neighborhood. In the foreground, a modern house with a dark grey tiled roof and light beige walls is visible. The house has several windows and a small balcony. In the background, there are other houses, some with different roof colors like green and blue. A large, forested hill rises behind the houses. The sky is clear and blue. Bare tree branches are visible in the top left corner.

目次

1章 大切にしていきたい町分のまち並み・・・3

2章 町分の風景に調和した建物ガイド・・・9

3章 町分のまち並みアンケート集計・・・17

1章 大切にしていきたい町分のまち並み

自然風景

町分地区の景観の基盤となっているのは、地区を取り囲む山々や木戸川等の自然環境です。これまで地区住民が大切にしてきた自然をこれからも大切にし、自然との調和を意識していくことが景観形成の基本となります。



町分地区を囲む緑深い山々

町分地区に沿って南北に流れる木戸川



生活生業の風景

自然環境や気候風土と調和した生活生業が営まれてきた町分地区には、水田、畑地、水路等が面的に広がっており、自然と調和した柔らかな風合いの風景を構成しています。これまで連綿と営まれてきた生活生業による風景をこれからも大切に守っていきます。



季節ごとの風景と食を育む豊かな水田



町分地区の隅々に清らかな水を運ぶ水路



生活生業の風景

住宅や農地の間を通る小道やアイストップとなる樹木も、町分らしい柔らかな風景を構成しています。

子どもたちの遊び場にもなる小道、暑い日には木陰をつくり、季節ごとに花や実をつける樹木を大切に守り、潤いのある生活環境を維持していきます。



子どもたちの遊び場・通学路になる小道



町分地区の風景を彩る樹木



大きな樹木がつくる
木陰

受け継がれてきた時間、場所

町分地区は人々（生者、ご先祖様等）との交流を大切にしてきた地区であり、道沿いのお地藏様やお盆のたいまつ、麓山神社、天山文庫等、その祭事や場所を丁寧に受け継いできました。これからもこうした時間や場所を受け継いでいくために必要な配慮を行なっていきます。



重要無形民俗文化財 獅子舞



お盆の迎え火送り火



お地藏さん



麓山神社



天山文庫

草花と柔らかな境界

町分地区にはたくさんの草花が見られ、道ゆく人を楽しませ、風景に彩りを与えています。敷地境界に塀を設けずに草花や生垣等を植えた住戸も多く、どこに立っても柔らかく、広々とした印象を受けます。敷地内外の自然を、地区全体で共有するまち並みをこれからも大切に引き継いでいきます。



季節の彩のある境界

町分地区で見られる花々



風景にとけこむ建物

暑い日差しを遮る庇、雨水処理に適した勾配屋根を基本とする建物は、地区を囲む山々の稜線ともよく馴染んでいます。木材を使用したり、落ち着いた色合いを使った外壁は、まち並み全体の調和を生み出し、自然景観に溶け込んでいます。気候風土に適した建築様式を守り、景観と調和したまち並みを今後も守っていきます。



稜線になじむ勾配屋根

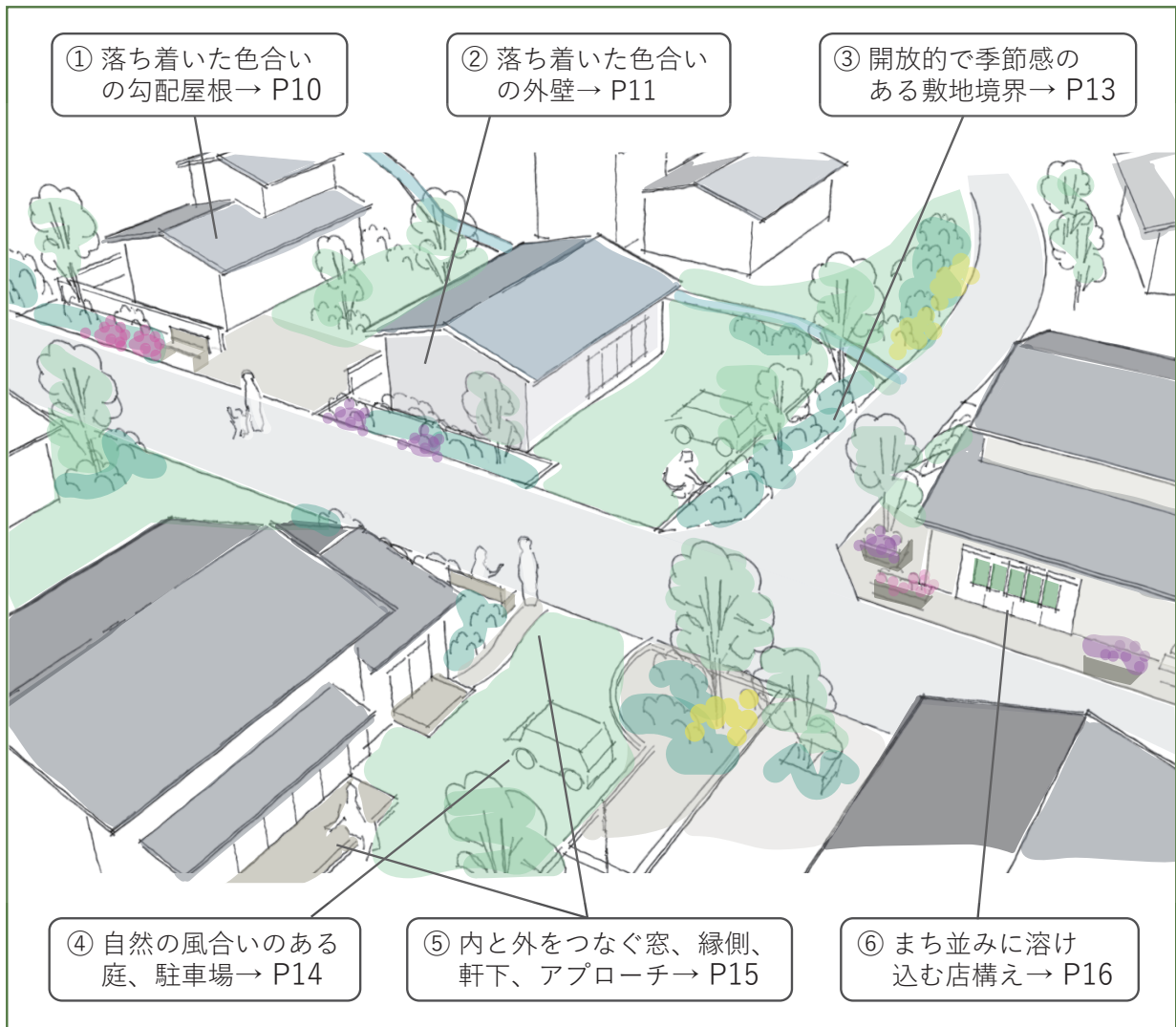
天山文庫にも見られる深い軒



2章 町分の風景に調和した建物ガイド

前章で述べた『大切にしていきたい町分の風景』を守り、その魅力を磨いていくために、町分地区で今後行われる建築行為等において配慮が求められる事項を、「① 落ち着いた色合いの勾配屋根」「② 落ち着いた色合いの外壁」「③ 開放的で季節感のある敷地境界」「④ 自然の風合いのある庭、駐車場」「⑤ 内と外をつなぐ窓、縁側、軒下、アプローチ」「⑥ まち並みに溶け込む店構え」の6つの項目に分けて示しています。

本ガイド推奨 まち並みイメージ



*本ガイドは、現時点で対象地区の大部分が守られている項目を明文化し、今後地域外からも含めた開発や建築などが行われる際に、大きく逸脱したものができないようにすることを主な目的としています。

*本ガイドの対象とする行為や運用方法については今後の検討事項ですが、あくまでも「今後行われる建築行為等」が対象ですので、現在の建築物についていますぐの修正を求めるものではありません。

① 落ち着いた色合いの勾配屋根

町分で見られる暮らし方

【屋根の形状・勾配】



山の稜線になじむ切妻屋根



格式のある入母屋屋根



勾配屋根が並ぶまち並み



町分で多くみられる瓦屋根

【屋根の素材・色】

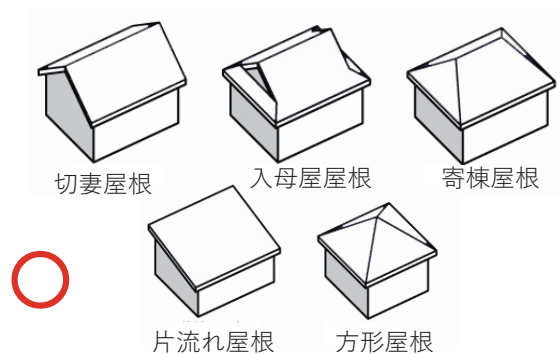
町分地区で見られる建物の屋根の多くは、3寸～4.5寸程度の勾配の切妻屋根もしくは入母屋屋根です。それらの屋根形状は、周囲の山の稜線となじんで、一体感のあるまち並みを形成しています。また色や素材にも統一感があり、灰色やこげ茶色の瓦や金属葺きの屋根が多くみられます。

取り入れたい工夫

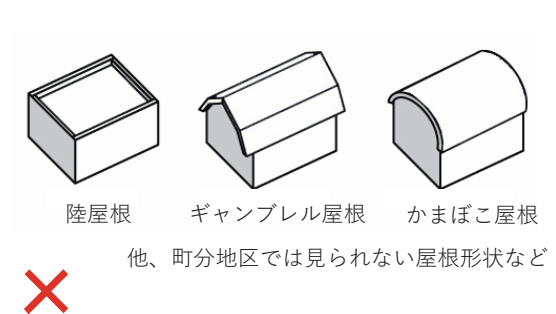
【屋根の形状】

屋根の形状はまち並みの印象に大きく影響を与えるため、周囲の建物と調和のとれた形状としましょう。

町分にあった屋根形状

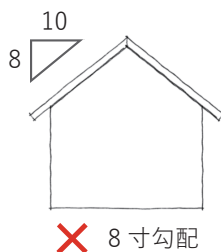


町分に合わない屋根形状

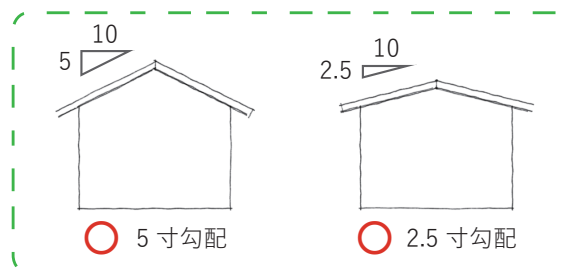


【屋根の勾配】

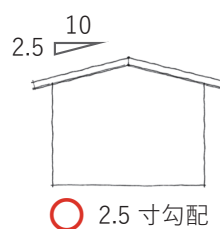
新たに建物を建築する場合、2.5寸～5寸の間の屋根勾配とすることで、周囲の建物との調和がとれた建物となります。



8 寸勾配



5 寸勾配



2.5 寸勾配



陸屋根

【屋根の色】

屋根で使用できる色は、下記の通りとします。(但し、自然素材そのものの色の場合を除く)

色相 R (赤), Y R (赤黄), Y (黄)は 彩度 3 以下

色相 G Y (黄緑), G (緑), B G (青緑), B (青), P B (青紫), R P (赤紫)は 彩度 1 以下

詳細は12ページ『屋根、外壁、塀の色』をご確認ください。

② 落ち着いた色合いの外壁

町分で見られる暮らし方

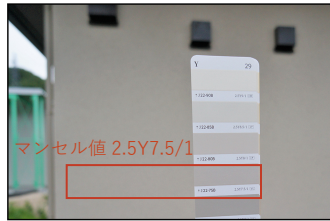
【外壁の色】



住宅で見られる落ち着いた色味の外壁



商業施設で見られる落ち着いた色味の外壁



外壁の色彩調査結果

【外壁の素材】



自然素材を使った外壁

町分地区で見られる建物の外壁には、彩度の低い色が多く使われていることが調査の結果分かりました。彩度の低い色は建物に落ち着いた雰囲気を与えるため、個々の建物が主張しない一体感のある印象となっています。

取り入れたい工夫

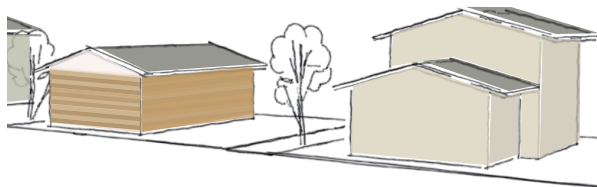
【外壁の色】

建物の外壁に使用する色は、原色や極端に目立つ色（彩度の高い色）を避け、落ち着いた色（彩度の低い色）、周囲の建物に合った色を使いましょう。

彩度の低い色の例



落ち着いた色、まわりの自然に合った色



彩度の高い色の例



原色や極端に目立つ色



外壁で使える色は、下記の通りとします。（但し、自然素材そのものの色の場合を除く）

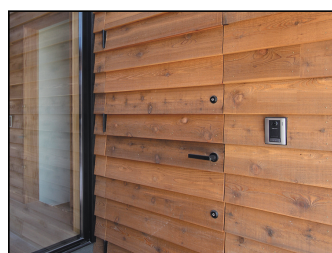
色相 R(赤), Y R(赤黄), Y(黄)は 彩度4以下

色相 G Y(黄緑), G(緑), B G(青緑), B(青), P B(青紫), R P(赤紫)は 彩度2以下

詳細は12ページ『屋根、外壁、塀の色』をご確認ください。

【外壁の素材】

外壁には、木材や漆喰、石など自然の素材を使うと、一層周囲の自然になじむ、趣のある建物となります。



木材を使った外壁



漆喰を使った外壁

『屋根、外壁、塀の色』

本ガイドでは、日本工業規格(JIS)標準色表として採用されているマンセル表色系を使用し、色の基準を定めています。

屋根で使用できる色の範囲(但し、自然素材そのものの色の場合を除く)

色相 R(赤), Y R(赤黄), Y(黄)は 彩度 3 以下

色相 G Y(黄緑), G(緑), B G(青緑), B(青), P B(青紫), R P(赤紫)は 彩度 1 以下

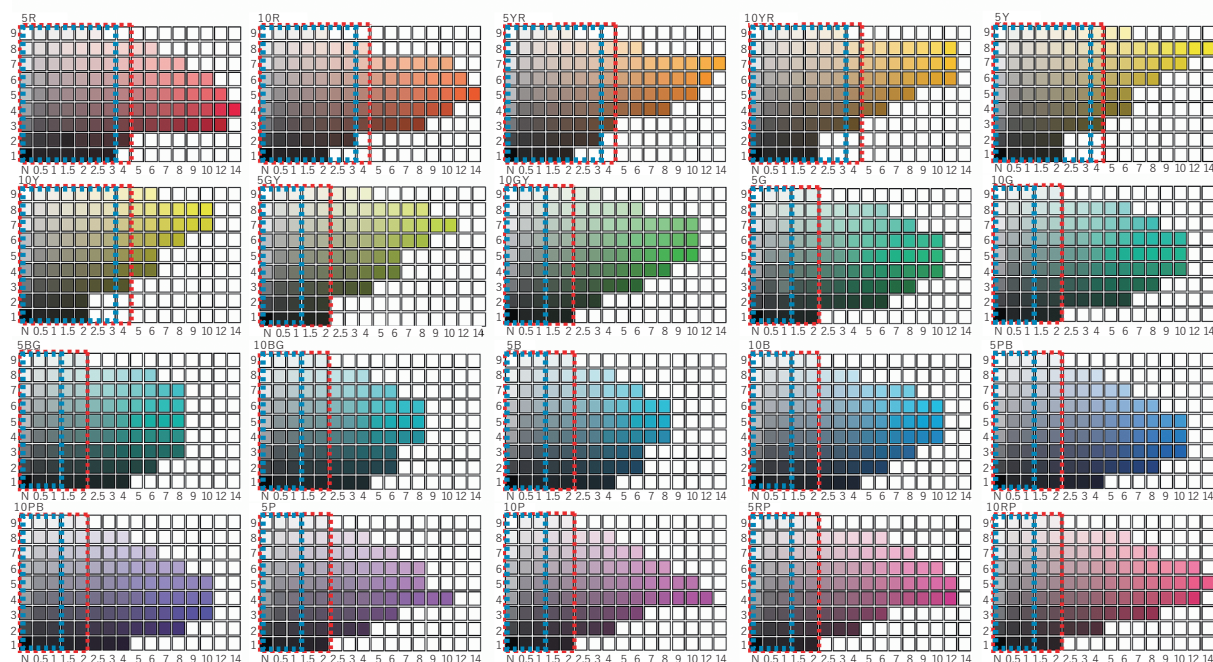
外壁・塀で使用できる色の範囲(但し、自然素材そのものの色の場合を除く)

色相 R(赤), Y R(赤黄), Y(黄)は 彩度 4 以下

色相 G Y(黄緑), G(緑), B G(青緑), B(青), P B(青紫), R P(赤紫)は 彩度 2 以下

下図の点線の枠内は使用できる色を参考として示したものです。(青枠→屋根、赤枠→外壁・塀)

※なお、ここに表現されている色は印刷によるものであり、正確なマンセル値とは異なるため、実際の色は色票での確認が必要です。



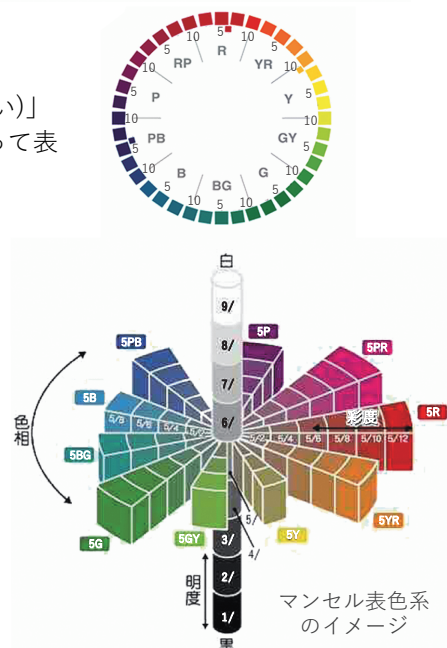
【マンセル表色系とは】

日本工業規格(JIS)に定める色の表示方法です。ひとつの色を「色相(色合い)」「明度(明るさ)」「彩度(鮮やかさ)」という3つの属性の組み合わせによって表現しています。

【色の三属性】

- ① 色相 基本の赤(R)、黄(Y)、緑(G)、青(B)、紫(P)と、中間の5色、黄赤(YR)、黄緑(GY)、青緑(BG)、青紫(PB)、赤紫(RP)の合計10色で表し、その度合いを表す数字を組み合わせる。
- ② 明度 色の「明るさ」の度合いを表し、明るい色ほど数値が大きくなる。
- ③ 彩度 色の「鮮やかさ」の度合いを表し、鮮やかな色ほど数値が大きくなる。

(マンセル値の読み方) 5 R 4 / 1 4
色相 明度 / 彩度



③ 開放的で季節感のある敷地境界

町分で見られる暮らし方

【境界の設え】



境界を感じさせないオープンガーデンのような敷地境界



生垣



フェンスの塀



植栽が施されたブロック塀

町分地区には高い塀はなく、塀を設置していない敷地も多くみられるため、地区全体として広々として開放的なまち並みとなっています。また、道路との境界に植物を植えている住宅や店舗が多いため、四季を感じられる豊かなまち並みとなっています。

取り入れたい工夫

【境界の設え】

好ましいまち並み例



道路と敷地の境界は植栽や生垣等で自然な境界となるよう工夫しましょう。道路と建物との間には余裕を持たせ、道路への圧迫感を減らしましょう。



塀の無い緑豊かな境界



既存ブロック塀への工夫

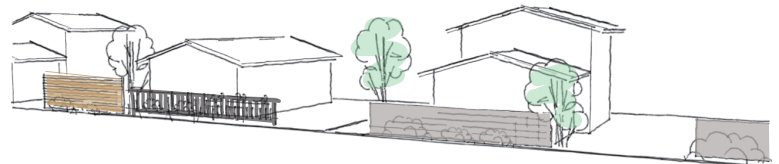
塀を設ける場合は、低いフェンス等見通しの良いものを使用し、周囲への圧迫感を減らしましょう。木板塀などの自然の素材を使用すると良い印象になります。

既存のブロック塀等を利用する場合は、植栽を施す等の工夫で無機質な塀も親しみやすいものになります。

好ましくないまち並み例



ブロック塀やフェンス等、異なる素材や大きさの塀が並ぶと、統一感のない印象になります。



敷地境界ギリギリまでブロック塀や建物が来ると、道に対して圧迫感を与えます。また、ブロック塀は老朽化や地震による倒壊の危険が考えられるため、新設は極力控え、既存のブロック塀でひび割れなど倒壊の兆候があるものはできるだけ撤去していきましょう。

【塀の色】

塀に使用できる色について詳細は12ページ『屋根、外壁、塀の色』をご確認ください。

④ 自然の風合いのある庭、駐車場

町分で見られる暮らし方

【庭・駐車場の設え】



芝、地被植物



砂利



白砂利



日よけ兼室外機隠しにもなっているすだれ

【屋外設備機器への配慮】

敷地の中で大きな面積を占める庭や駐車場は、まち並みの雰囲気を決める大きな要因となります。塀の無い住宅や店舗が多い町分地区では特に人々の目に留まる場所となっています。同時に、室外機や給湯器等の屋外設備は敷地内の雰囲気に影響を与えるため、設置の際には配慮が必要です。

取り入れたい工夫

【庭・駐車場の設え】

推奨する素材と工夫



芝生で覆われた庭や駐車場は見た目も柔らかく、周囲の自然に溶けこみます。



駐車場をコンクリート打ちにする場合は、粗めの表面仕上げにすると見た目の固さを和らげてくれます。また、分節化して目地に緑を入れるとより印象が良くなります。



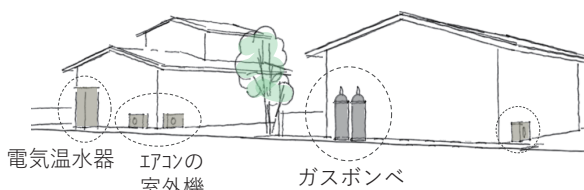
砂利を使用すると、小さな石の陰影により素材感が出ます。白砂利など明るい色の石を使うとより明るい雰囲気になります。

【外部設備機器への配慮】

外部に出てくる設備機器（エアコンの室外機や給湯器、ガスボンベなど）は道路面から見えにくい配置を心がけましょう。

どうしても道路から目立つ場所にきてしまう場合、近くに植栽を施したり、すだれなどで目隠しをするなどの工夫をすると良いでしょう。

その際、目隠しの素材には、すだれや木板など自然の素材を使用すると良いでしょう。



設備機器が目立つまち並み



設備機器が見えないまち並み



※ガスボンベやガス給湯器などは、可燃性のもので覆ったり密閉してしまいますと危険ですので、設置基準を守り、専用のカバーを利用するなどしましょう。

⑤ 内と外をつなぐ窓、縁側、軒下、アプローチ

町分で見られる暮らし方

【窓・縁側・軒下の設え】



大きな開口部



大きな軒下が内部空間のように使用されている例

【アプローチ・玄関の設え】



植栽や石積みが美しいアプローチ



玄関先や庭先に置かれたベンチの利用風景

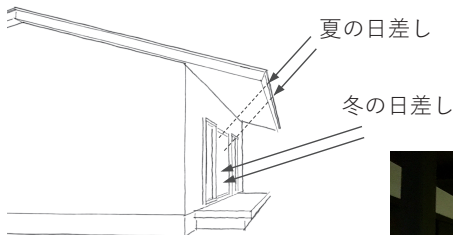
広々とした敷地に建つ町分地区の住宅には、大きな開口部を持つものが多くみられます。また、門扉のない住宅も多く、道路境界から玄関先へと続くアプローチが美しく手入れされている様子も見られます。

取り入れたい工夫

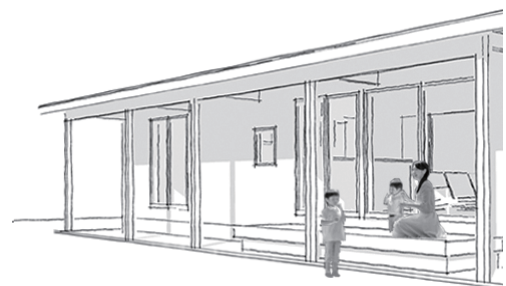
【窓・縁側・軒下の設え】

南側の大きな開口は深い軒との組み合わせによって夏の強い日差しを遮りながら太陽の光を室内に取り込むことができます。

雨もしのげる軒下には、縁側の設置などによって半屋外空間が生まれ、ご近所さんとの交流の場や子供たちの遊び場、物干場など、各戸の個性が現われ町分地区の風景になります。



雨と日差しを遮ってくれる深い軒下



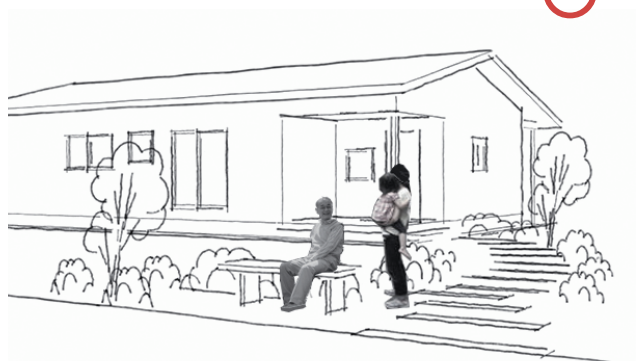
半屋外空間として活動が生まれる軒下と縁側

【アプローチ・玄関の設え】

来客を迎え入れるようなつくりのアプローチは、道を歩く人にとっても好意的に見えるものです。公共の休憩場所に加え、敷地内にベンチを置くなどすると散歩に快適な休憩ポイントがまち中にたくさん生まれ、ご近所同士の日常的な交流の場になるかもしれません。



植栽豊かなアプローチ



⑥ まち並みに溶け込む店構え

町分で見られる暮らし方

【建物のボリューム】



住宅のようなたたずまいの店舗



【駐車場の設え】



植栽や自然素材の装飾が施された駐車場



アスファルト舗装を和らげる鉢植えなどの植栽

町分地区で見られる店舗は、住宅の並ぶまち並みの中になじむ大きさや外観のものが多く、店舗だけが目立つことなく一体感のある印象となっています。植栽を施すなど各店舗の工夫が見られ、昔から有る店舗も新しい店舗も、町分地区の親しみやすいまち並みの一部となっています。

取り入れたい工夫

【建物のボリューム 駐車場の設え】

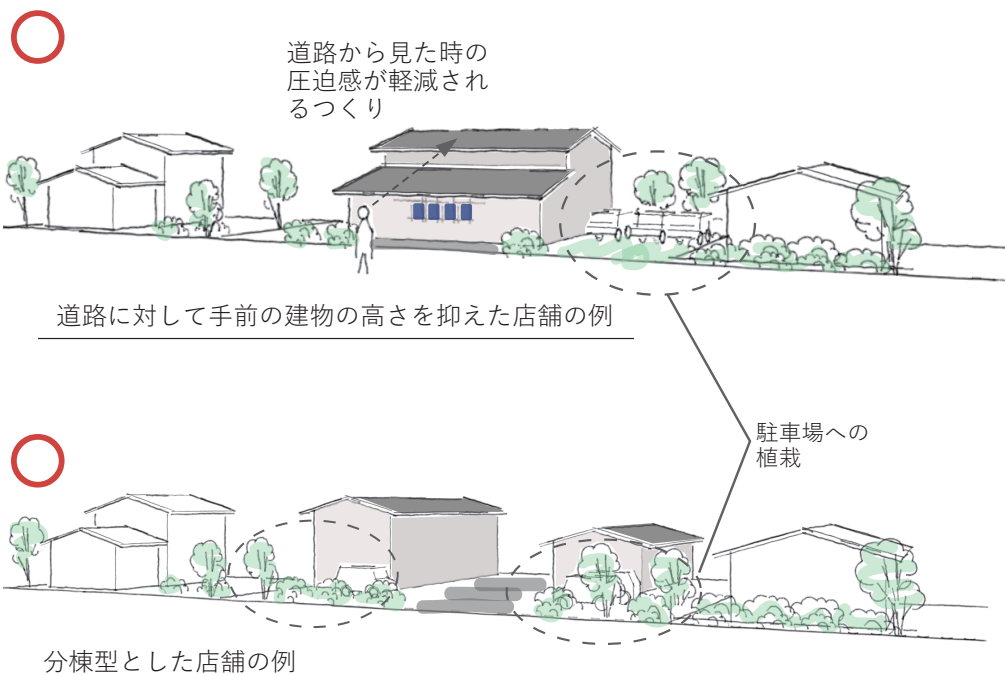
好ましいまち並み例

道路側への圧迫感を軽減するため、道路に対して手前を低く抑え、高い部分は奥に計画するなどの工夫が効果的です。

また分棟型とし、近隣の住宅とボリュームを合わせると、まち並みに対してなじみのよい店舗となります。

広い駐車場を有する場合は特に、芝で覆ったり、一定間隔で植栽を施す等の工夫により雰囲気づくりを心がけましょう。

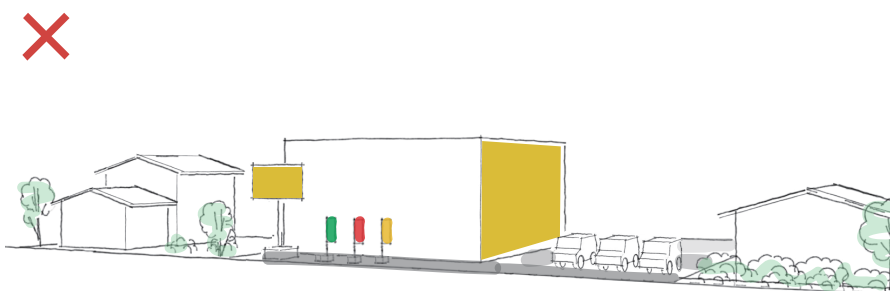
(P14 参照)



好ましくないまち並み例

大きなボリュームの建物や無機質な雰囲気を与える駐車場は避けましょう。

屋根、外壁、塀だけでなく、看板にも彩度の高い色の使用は控えましょう。

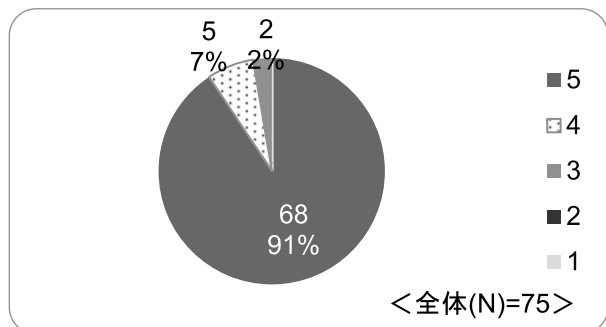


【参考資料】地区住民アンケートの結果

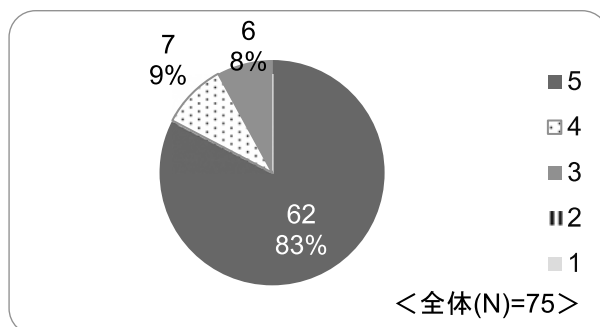
本ガイドライン作成の参考とするため、令和2年6月に地区住民を対象として、「大切な風景」「好きな場所・思い出の風景」「住まいや商店の外観」に関するについてアンケート調査を実施し、多くの有意義な回答をいただきましたので、その結果を以下にご紹介します。

1. 町分地区で大切だと思う風景について教えてください。

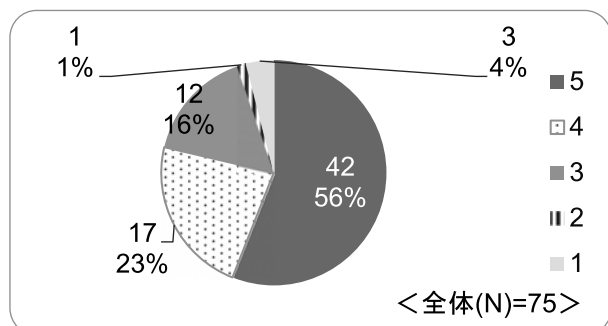
1-1. 四季折々に色づく花や樹木の自然風景を大切だと思いますか？



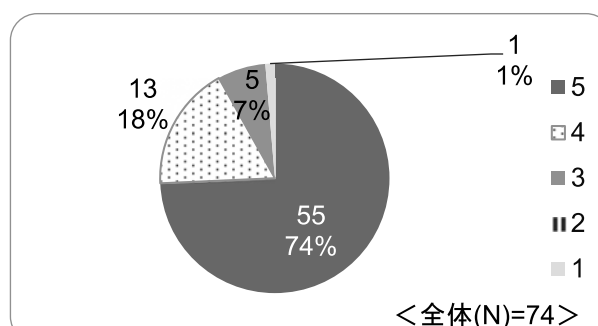
1-2. 水路や河川、水田等の水のある風景を大切だと思いますか？



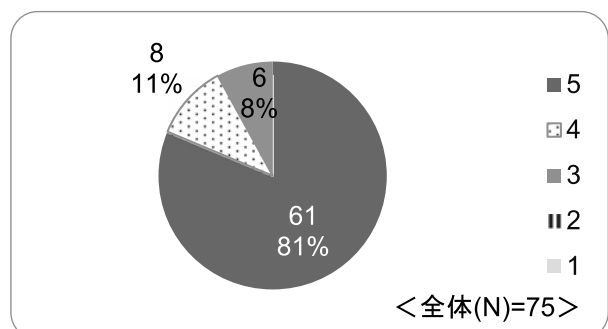
1-3. 商業的な賑わいの風景を大切だと思いますか？



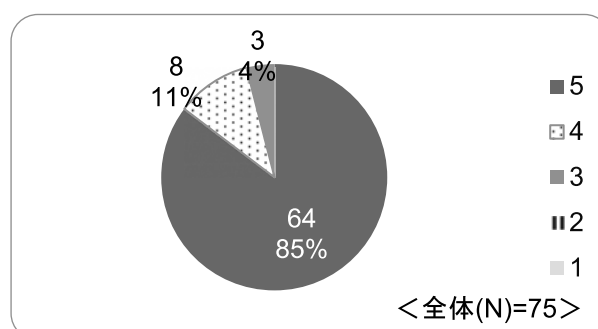
1-4. 日常の静かな風景を大切だと思いますか？



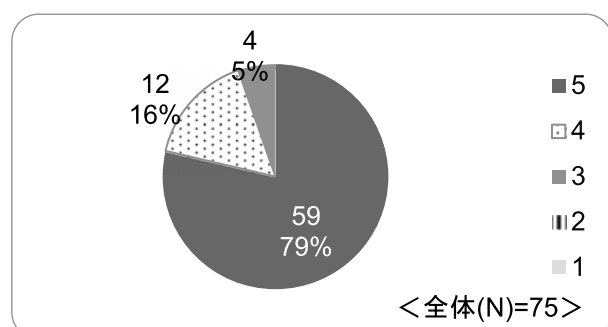
1-5. 子供たちの声が聞こえる活気ある風景を大切だと思いますか？



1-6. 古くからある建物や神社、石碑等の歴史的な風景を大切だと思いますか？



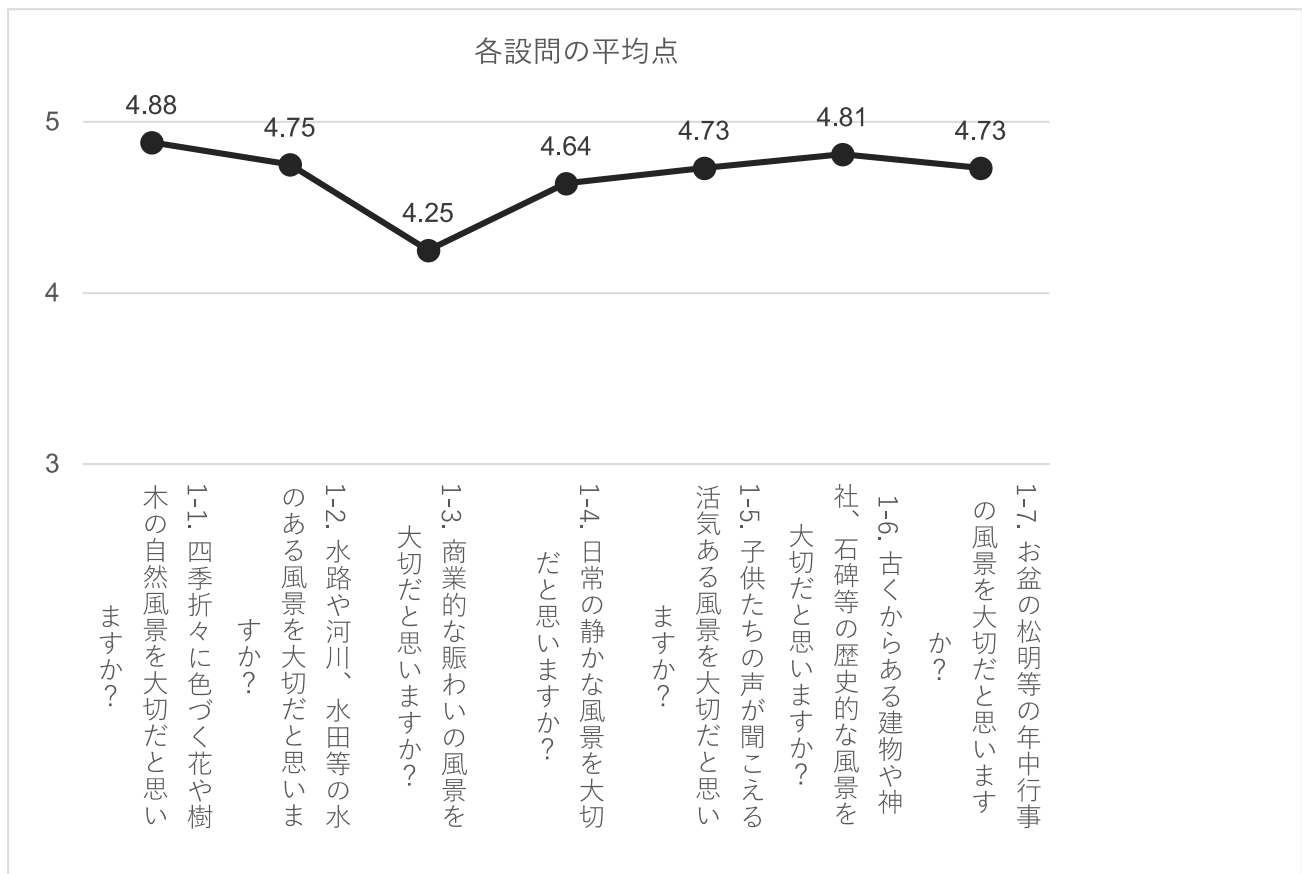
1-7. お盆の松明等の年中行事の風景を大切だと思いますか？



<凡例>

大切だと思ふ。 どちらでもない。 大切だとは思わない。

5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1



1-8. その他、町分地区で大切だ、もっと必要だと思うことがあれば教えてください。

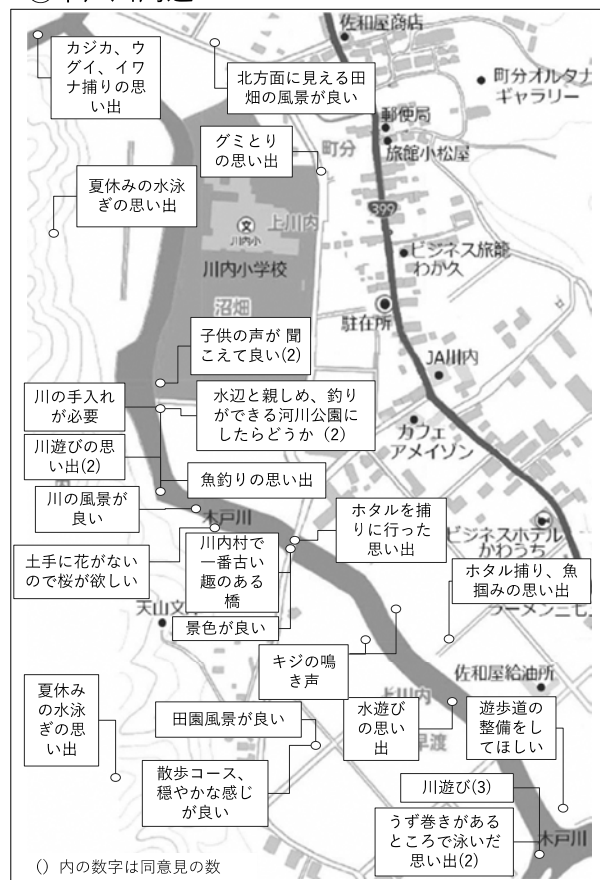
- ・若さや、子供の声。
- ・飲食店、子供が遊べる沢辺。
- ・どこかに並木を作して下さい。
- ・ハヤマ神社を少し手入れしたら良いと思う。
- ・街並みはとても大切だと思います。
- ・子供たちが遊ぶ、公園やアスレチックがあれば子供たちも生活している雰囲気が出る。川内村の中心地区だと思うので活気が欲しい。交通量が多いので(工事車両含む)、歩道が欲しい。
- ・もう少し子供の騒ぐ声が欲しい。老人の方々のふれあいが欲しい。
- ・インパクトのあるここにしかないというもので、維持が簡単、費用が掛からない、大型店で村で参加出来る施設を造る。
- ・焼き物の作成とかこれから窯元を作ってみること。
- ・本来の木が有名なら川内村の木で施設を作り、その木で工芸品とか。
- ・防火水槽が町分の学校近くに必要。旧保育所より旧二小学校へ行く道路を改良してスムーズに通ることができるようになれば事故があっても助かると思う。老人が散歩して休む場所(公園)があれば良い。
- ・庭いっぱいお花にしてオープンガーデンにしたい。その辺に咲いている草花をもっと大切にしたい。
- ・家の周りを清潔に、清潔感のある街になってほしい。
- ・国道399がもっと歩きやすい道だと安心して散歩ができるのでは。
- ・お盆の松明は毎年やりましょう。今年は特にコロナだからやるべき。
- ・歩きやすい道・道路。
- ・ゴミ収集所の改善。
- ・お店不足。生活に密接した買い物ができる環境。(野菜、肉、魚、日用品など特化した品ぞろい、歩いて買い物できる空間)

2. 町分地区の中であなたが好きな場所、思い出のある場所などについて、記入例を参考に、地図上に自由にお書きください。

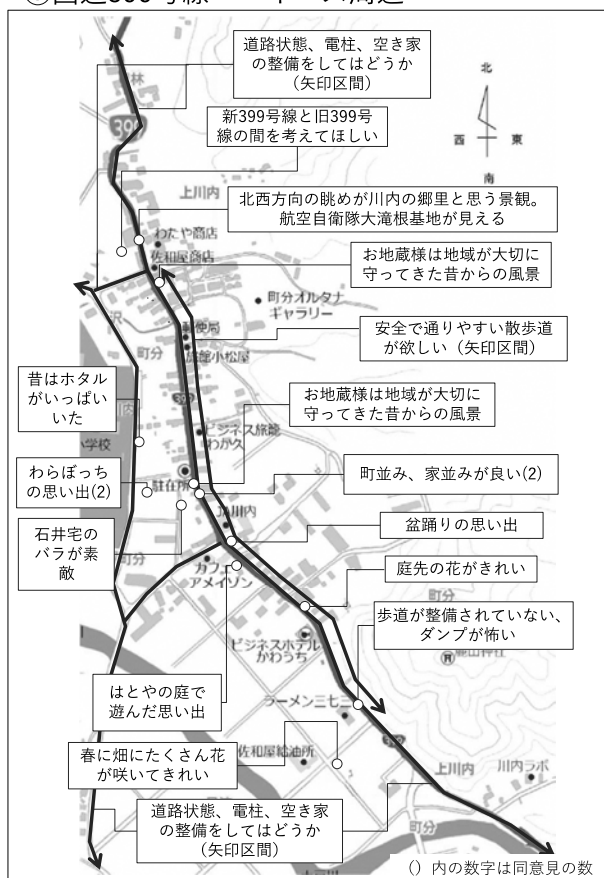
①天山文庫関連



②木戸川周辺



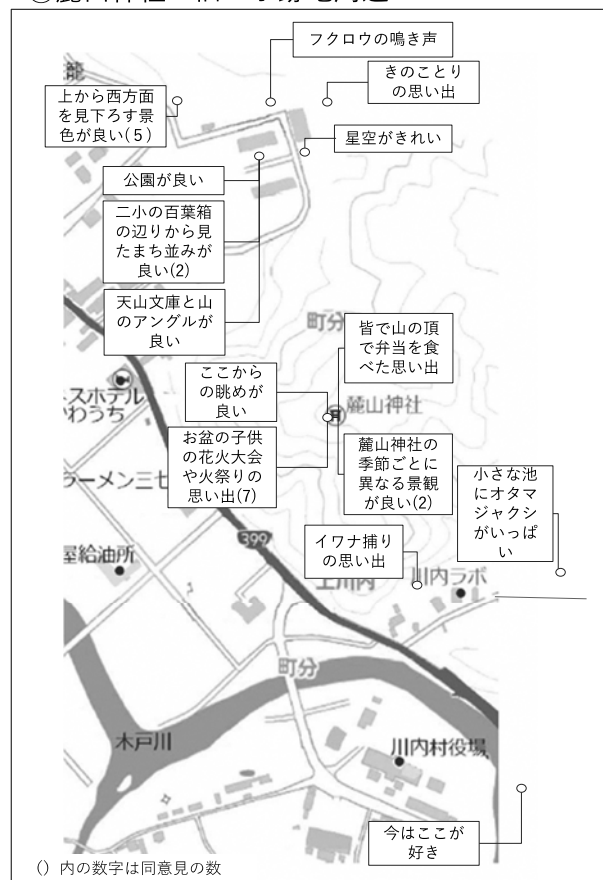
③国道399号線・バイパス周辺



④町分地区・水路（小川）周辺



⑤麓山神社・旧二小跡地周辺



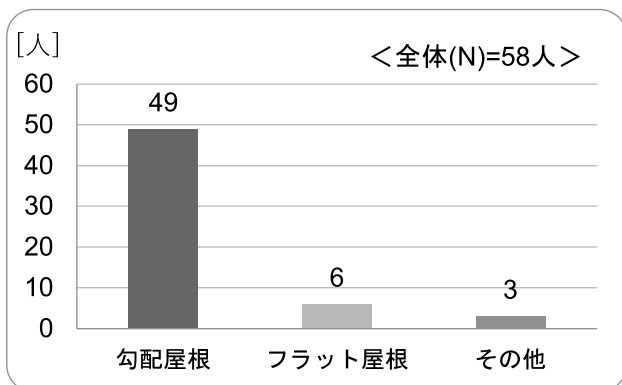
その他、場所によらない回答

- ・遊歩道ができれば車を気にしないで歩けるので嬉しい。
- ・上川内は空き家が多く夜は人が少ないので空き家対策が重要。
- ・老人が散歩中に休める場所。
- ・生活用品店の不足。

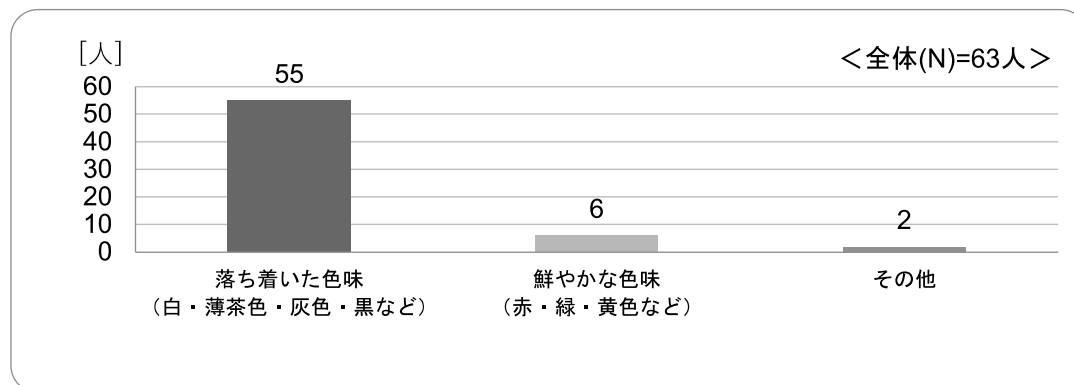
3. あなたのお住まいや商店の外観について教えてください。

3-1. あなたのお住まいや商店の外観で当てはまるものに○を付けてください。（複数回答可）

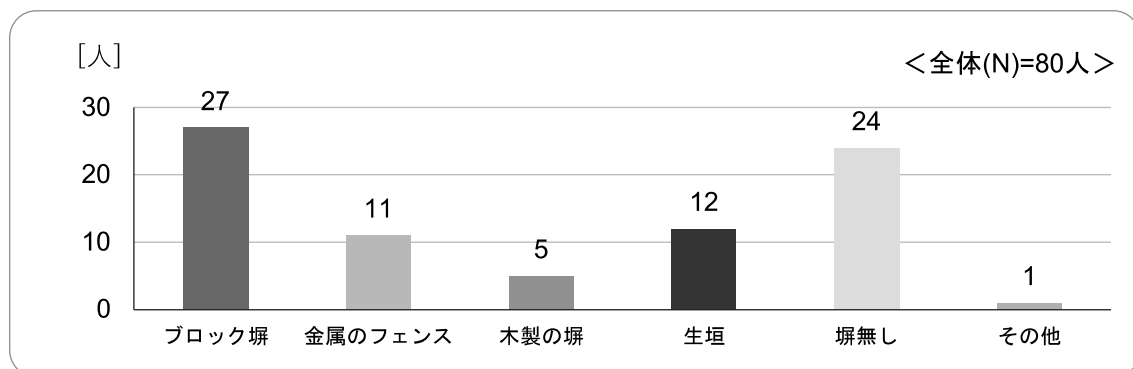
①屋根の形



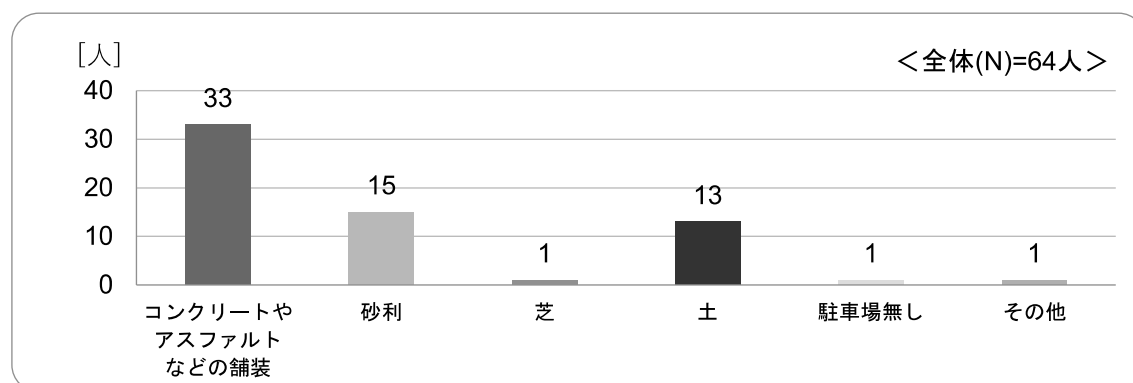
②外壁の色味



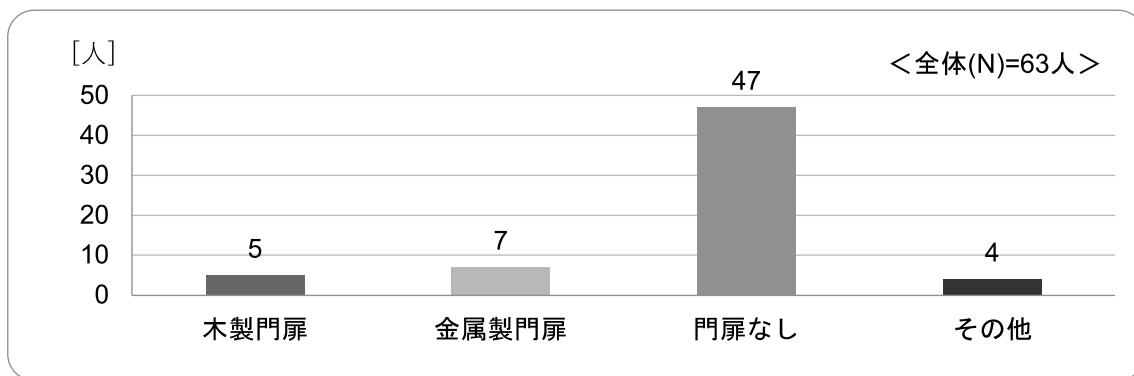
③塀



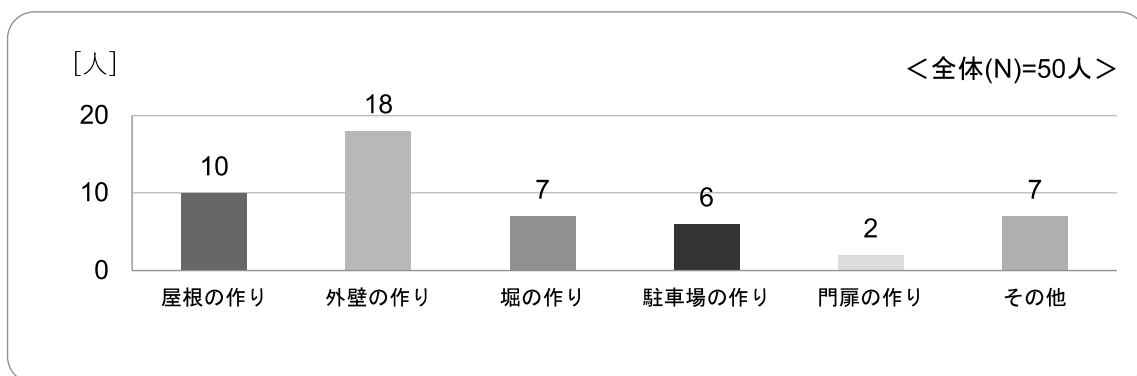
④駐車場



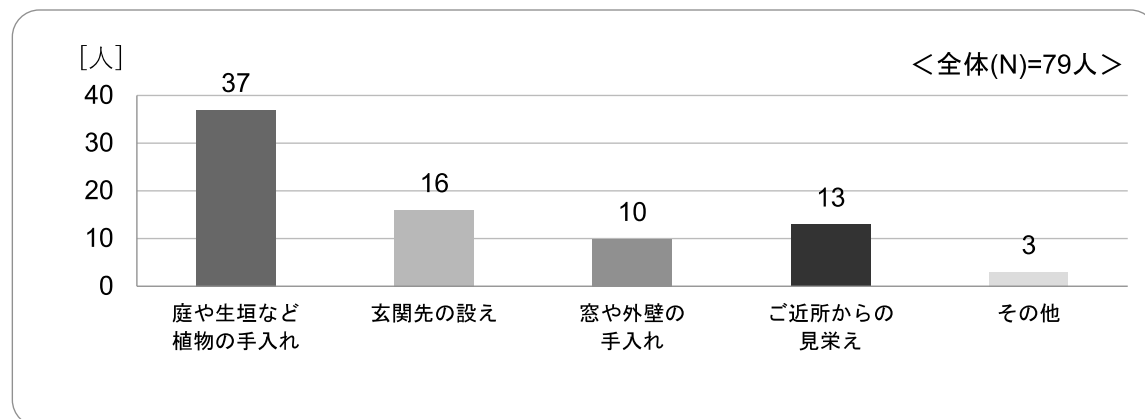
⑤門扉



3-2. あなたのお住まいや商店について、こだわって造ったところ、気に入っているところがあれば○を付けてください。（複数回答可）



3-3. あなたのお住まいや商店について、日ごろ気を使っていることなどがあれば○を付けてください。（複数回答可）



川内村町分地区景観ガイドライン まち並み編

発行／お問い合わせ

川内村役場 総務課
〒979-1292
福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡 11-24
Tel: 0240-38-2111
<http://www.kawauchimura.jp/>

発行日

令和 3 年（2021 年）年 3 月

